

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第4回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年10月13日(金) 14:00～15:00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

<委員長>

毒語という言葉聞くが、学校でも家庭でも毒語は子どもにとって悪影響を与えてしまう。毒語例(「何回言われたらわかるの?」「早くしないと, ○○させないから」「やる気がないのだったら, もうやらなくていいから」等)子どもにとって学校や家庭がほっとする場づくりについて考えていきたい。また, 不登校やいじめが全国的に増加傾向にあると聞くが, 牧田小学校はどうか。

<校長>

委員長が言うように毒語は悪影響を与えるだけなので, 子どもの視点に立った言葉かけをしていきたい。

4 協議内容

(1) 行事の報告(授業参観・教育を語る会, 守ってくれてありがとう運動, 5年生社会見学, 水泳授業開始)

<委員>

・水泳指導について以前から外部委託になると聞いていたが, 専門の指導や環境面(水道代等の費用や安全性), 教職員の働き方改革のことも考えて, 継続して委託していけるとよい。

→予算のこともあり, 教育委員会が決めることであるが, 今年の方角で進んでいくのではないか。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果について

<委員>

・ノーメディアデイというインターネット等のメディアが強調されがちであるが, 基本は睡眠である。取組が始まった際には, 睡眠の日として睡眠の大切さについて養護教諭から児童の現状等を踏まえた話があった。もっと睡眠を強調していけるといい。

<委員>

- ・大谷選手など一流のスポーツ選手も睡眠が大事と言っている。睡眠の日の説明が養護教諭からあったが、可能であれば他の先生からの声も聞けるので、
→基本は睡眠であるので、取組の際にはしっかりと強調していきたい。
- 運営協議会への教職員の参加については、時間設定がないと難しい。子どもがいる時間には、子どもが最優先としたい。夏休みなど必要な機会には参加するようにしている。また、ノーメディアの取組の中には、睡眠は大切にしているので残している。

(3) 最近の学校の状況について（子どもたちの様子について）

いじめの件数の増加については、いじめの認知件数が増えている方である。小さな出来事でも子どもにとって嫌だと感じたことはしっかりと把握して改善に努めている。それだけ丁寧に聞き取り、報告するようになってきた。全体的に落ち着いているが、行き渋っている子もいる。学校はほっとルームという教室をつくってはいるが、勉強が嫌、家が嫌、人間関係が嫌など様々である。

<委員>

- ・学校にボランティアで入っていても、立ち歩きはなく落ち着いているように見えるが、そばにつかないとぼうっとしていて作業が全く進まない子が増えてきている。特に低学年に多い。

<委員>

- ・ほっとルームがあることは有難い。今後は子どものニーズにあったものになっているかについても考えていってほしい。

<委員>

- ・SNS やラインでグループができているという話を聞くが大丈夫か。
→保護者からライン等のやり取りの中身について心配だと気が付いて連絡ただけのことが増えてきている。保護者の目が予防になっているのも事実である。学校でも出前授業によるネットモラル教室やPTA の教育を語る会で SNS について考える場も設定している。今後も継続していきたい。

<委員>

- ・前回も参加はなかったが、教育委員会からの欠席が多いので軽視されているのではないか。教育委員会はもっと参加して情報や意見をもらいたい。
→担当の人数が限られ、他校と重なっているのが難しいようだが、次回こそは何とかは参加いただけるように教育委員会へ伝えていく。